お客様と私たちをつなぐ　　令和８年 11 月号

KSN 通信 VOL.222

こんにちは。いつも弊社をご利用いただき、誠にありがとうございます。

2026 年のノーベル化学賞に、東京理科大学の砂合憲三名誉教授が選ばれました。フランス・パリ南大学のアンリ・カガン博士との共同受賞となった今回のテーマは、「不斉有機合成における非線形効果と自己触媒作用の発見」です。物質を構成する分子の中には、鏡に映したように重ね合わせられない「鏡像異性体（左右のペア）」が存在します。しかし、生体分子はどちらか一方の形に偏っており、こうした非対称性「ホモキラリティー」がなぜ生じるのかは謎でした。砂合氏が発見した「砂合反応（自己触媒作用と非線形効果）」は、極僅かな「右・左」の差が、反応を繰り返すことでほぼ片方だけになるまで増幅される自己触媒反応で、「ごく小さな偶然の偏りが、自己増幅した結果、最終的に片方だけの世界になったのでは」という説明の有力なモデルになっています。また、薬の成分は「右手型と左手型で効き目や安全性が全く違う」ことが多いため、この反応の仕組みや「偏りを増幅させるアイデア」は、安全で効率的な新薬の合成研究に大きなヒントを与えています。

日本からのノーベル賞受賞は３年連続となり、国内の化学界に大きな歓喜と誇りをもたらしました。

■ 環境ニュース

■ 「リチウムイオン電池による火災防止強化キャンペーン」及び「リチウムイオン電池による火災防止月間」について

環境省では、近年、頻繁に発生しているリチウムイオン電池等による使用時・廃棄時の火災事故を防ぐため、10 月～12 月の３か月間を「リチウムイオン電池による火災防止強化キャンペーン」の期間としており、特に 11 月は「リチウムイオン電池による火災防止月間」に合わせて、周知・啓発を集中的に実施しています。リチウムイオン電池等の火災事故防止につながる啓発・回収・イベント等を実施する自治体・事業者等を「LiB パートナー」として認定しており、期間中は、関係省庁や LiB パートナー等の関係事業者と連携し情報発信するとともに、リチウムイオン電池による火災の現状や火災防止を周知するための啓発物の公表、リチウムイオン電池の「3 つの C」、「賢く選ぶ（Cool choice）・丁寧に使う（Careful use）・正しく捨てる（Correct disposal）」についてシンポジウムを開催するなど、周知・啓発の一層の強化を図っています。

■ KSN からのお知らせ

■ 産業廃棄物収集運搬業許可（和歌山県）を取得しました

種類	発行者	許可番号	有効年月日
産業廃棄物収集運搬業	和歌山県	第 03000133669 号	R13.10.8

発行元：株式会社関西再資源ネットワーク
〒５９２－８３３１
大阪府堺市西区築港新町４丁２番５
TEL：072-320-9001（代表）
FAX：072-320-9004